

# 巻 頭 言

## 創業 70 年記念号に寄せて

代表取締役会長 本多正道



不二越は、1928年（昭和3年）当時ほとんど輸入に頼っていた工具の国産化をめざし、井村荒喜（創業者）により創立され、本年度創業70年を迎えます。これを記念して70年記念号を発刊いたしました。当社が今日あるのは、需要家の皆様ならびに関係者の方々のご支援の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

工具メーカーとしての基盤を確立し、品質最優先の考えのもとに、材料からの一貫生産をめざし、1938年（昭和13年）高級特殊鋼の製造を開始、続いてベアリング、工作機械、油圧機器へと事業を拡大しました。

日本経済の高度化、成熟化にあわせて、機械産業の基幹となる技術の充実につとめ、時代の要請に応じて積極的な事業展開を行い、技術開発志向の企業として経営の多角化をすすめてきました。その流れについては本号の「不二越の技術開発70年の歩み」に紹介しておりますので、ご参照ください。

現在では、工具、特殊鋼、ベアリング、工作機械、油圧機器、ロボットの6部門の技術力を核として、工業炉、焼結材料をはじめ超精密機械、電子機器、加工システムや環境装置を手がけています。

1970年代には、海外生産を開始し、国際化をすすめる、アジア、アメリカ、ヨーロッパで事業を展開しています。

需要先は、自動車、工作機械、精密機械、建設機械、電機、電子、航空機、車輜などの機械産業と金属、化学、エネルギー、食品、医療関連、環境保全、住宅、建設、レジャー産業など広い範囲にわたっています。

当社は、これらの需要先に対して相互信頼のもと、ナチビジネスを展開してまいります。

社会が成熟し、ボーダーレス化、地球環境問題と相まって企業をとりまく環境は大きく転換しつつあります。

産業界では、情報化、国際化をはじめグローバルな規模で構造改革と絶え間ない技術革新が進展しています。

不二越は「グローバルな視点に立ち、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会の実現に貢献します」という経営理念のもとに、「ものづくりの発展に貢献し、企業の成長をはかる」という経営ビジョンを確立し、省力化・システム化、情報化、超精密、省資源、環境保全をはじめ、現代社会のニーズに根ざした経営をすすめてまいります。